

新にいがた

野党共闘、共産党の前進さらに

2016年8月28日(日) 第1827号

発行所 新にいがた 長岡市曲新町1-12-14 ☎025(247)6366
毎月第4日曜日 定価150円(送料50円)1966年7月22日 第三種郵便物認可

県委が創立94周年祝う会 森・武田・藤野議員迎え



連帯を誓う参加者と(左から)藤野、森、武田の3議員=25日、新潟市

日本共産党新潟県委員会は25日、新潟市で参院選野党統一候補として勝利した森裕子さんと、日本共産党の前進、党創立94周年を祝う会を開き、140人が参加しました。森議員と武田良介参院議員、藤野保史衆院議員、野党5党、市民連合、民主団体などの代表も参加しました。

共闘を各市町村でも強めよう。知事選や市長選では野党共闘強化で大胆に挑戦していききたい」とあいさつしました。

講演した藤野議員は、政府・与党の異常な共産党攻撃を打破できなかったのは綱領の実践にあり、新たに生まれ、新たな信賴を力に未踏の領域への活動に踏み出し、政治を変え、党を大きくしようと訴えました。

全野党が参加したレセプションでは、市民連合の水内基成共同代表(弁護士)が「参院選で共産党が果たした役割はものすごく大きかった。市民連合は接着剤の役割を果たし、野党共闘の流れを続けていきたい」と述べました。

森議員は「国民の切なる思いとママたちの平和を守る思いが一杯詰まった勝利だった。平和の礎の憲法を守る決意を新たにしている。さらに絆を深めて市民と野党の共闘を進化させて、心を一つにたたかってください」と訴えました。

民進党県連の内山五郎常任幹事は「選挙の中でじっくり考え、道を迷わないことを教えてもらった。皆さんと手を取り合って頑張っていきたい」と表明。社民党県連の小山芳元代表は「共産党の素晴らしい活躍が勝利に結びついた。安倍暴走を止めるために、新しい選挙のスタイルを堅持、進化させていきたい」と述べました。そのほか、新社会党県本部の小林義昭委員長、緑の党新潟の中山均共同代表が紹介されました。

武田議員は「日本の民主主義が問われている。原発、TPP(環太平洋連携協定)、水俣病、社会保障などで頑張り抜きたい」と述べました。

戦争への道再び許さない

終戦記念日 渋谷県議宣言

日本共産党の渋谷明治県議は15日、新潟市東区内で山の支部と終戦記念日の街頭宣伝を行いました。

渋谷県議は、小池晃書記局長が談話を発表し、戦争法にもとづき南スーダンに派遣されている自衛隊が「殺し、殺される」初めてのゲーになる危険が切迫していることから、戦争法の発動を許さず、廃止を求める世論と運動を呼びかけました。

渋谷県議は、自分の兄とおじが戦死したことや、戦時中にノートも鉛筆もない悲惨な小学校生活だったことを話し、戦争は何もかも奪ってしまい、二度と起こしてはならないものだとし、「憲法9条を守り、再び戦争する国への道を許さないために、全力で頑張り抜く」と訴えました。



終戦記念日に宣伝する渋谷県議と山の支部員=15日、新潟市

野党と市民の共闘 さらに前進を

魚沼地区党創立を祝うつどい 森・武田・藤野議員迎え



参加者と連帯する(左から)藤野、森、武田の3議員=21日、南魚沼市

日本共産党魚沼地区委員会は21日、南魚沼市で参院選野党統一候補として勝利した森裕子さんと、日本共産党の前進、党創立94周年を祝うつどいを開き、110人が参加しました。森議員、武田良介参院議員、藤野保史衆院議員が参加しました。

森議員は、日本共産党の94年の歴史と伝統に敬意を表するとともに、3年ぶりに国会に戻り若い共産党議員がたくさん増えていることに驚き、それだけ国民の期待が集まっている表れだと紹介しました。

武田議員は、野党統一候補が11の選挙区で勝利したことは歴史的なこと、野党と市民が力を合わせれば政治を変えられることが証明できたと強調。臨時国会では11の議席と共産党が力を合わせていくので、政治を動かすために生の

藤野議員は記念講演し、参院選で安倍首相をはじめ政府・与党をばしめ政府・与党は、異常な共産党攻撃を行ったが、それは切羽詰まった焦りと危機感から行ったもので、党の正面からの反撃で思い通りにさせなかつたことを力説。野党共闘を実現できた根底には綱領路線があり、衆院選めざして野党共闘の成果と教訓を深め、

野党と市民の共同を進展させ、激動の情勢で政治を変えるためにも、党を強く、大きくすることを訴えました。

50年と永年(30年)党員証の伝達式も行われ、3人の議員と記念撮影が行われました。5人の50年党員は「誇りある50年だった」「党との出会いで、悩み、迷うことなく素晴らしい人生を送れた。憲法と個人の尊厳を守るため頑張っていく」「苦しさを支えてくれたのは共産党だった」「党員人生の中で野党統一候補の勝利は本当にうれしかった」などと述べました。

戦争の加害責任知ろう

新潟AALAが講演会



新潟AALA第9回総会記念講演会 日韓慰安婦と同意私たちの未来 講師 吉澤文寿さん

新潟県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会(AALA)は6日、新潟市で吉澤文寿・新潟国際情報大学教授(新潟AALA代表理事)を講師に講演会を開きました。30人が参加しました。

吉澤氏は「日韓『慰安婦』同意と私たちの未来」と題し講演。8月6日が広島に原爆が投下された日であり、広島・長崎原爆被害者に強制連行などによる朝鮮人や台湾出身者がいたことから、戦争被害の歴史は語り継ぐが、侵略や植民地加害の歴史を振り返ることが重要で、歴史を振り返ることが通して、平和をつくることを実践しようと呼びかけました。

参加者から「同意に日本政府がどれだけ誠意を持って対処するか責任を負っている」「戦争被害の歴史は多く語るが、加害を語るのはいさな。これは戦後の社会化教育の後退とも言える。近代史を学び返すことが必要だ」との意見が出ました。

核廃絶国際署名を

原水協6・9行動



新潟県原水協と新潟市原水協は9日、新潟市で6・9行動に取り組みました。垣内秀司県原水協事務局長が「今日は長崎に原爆が投下されて71年たった日です。核兵器の使用は人類と文明に対する犯罪です。『悪魔の兵器』はなくすしかありません」「原水協広島大会で各国の代表も、被爆者団体協議会が呼びかけた核兵器廃絶国際署名に取り組み決意を語っています。ぜひご協力を」と訴えました。ピラを受け取った隅木富美子さんは「以前署名しました。今度署名集めに協力しますので、用紙をください」と話しました。

女性が力あわせ政治変えよう

新潟県母親大会開催 森議員あいさつ



平和憲法を守り抜くことを誓いあった母親大会＝7月31日、新潟市

第62回新潟県母親大会が7月31日、新潟市で開かれ、430人が参加しました。参院選で野党統一候補として当選した森裕子議員が連帯あいさつしました。

赤沢富美子代表委員が「参院選で市民の力が政治を変えることが示された。さらに運動を広げ、安倍政治をストップさせよう」とあいさつしました。

森議員は「オール野党と市民の共同、女性の力で新しい民主主義が生まれた。野党統一でなければ決して勝てなかった。党派を超えた共同をもっともつと進化させて結束しなければいけない。何があっても平

和憲法を守り抜く。戦争する国にさせない強い決意で頑張る」と述べました。

福島市在任の経済学研究者でフルート奏者の後藤宣代さんが「フクシマからの声、21世紀を生きるよろこび・働くよろこび」と題し講演・演奏。後藤さんは、放射能汚染の現状や福島の実態が日本社会の縮図と指摘し、懸命に生きる人たちの姿を紹介しました。

後藤さんは、日本でも世界でも人間らしさや働き方を求めて運動が生まれており、貧困と格差が広がる今こそ、1%の富裕者でなく、99%の市民が暮らせる社会にしなければならず、

市民野党の共同で戦争法廃止だ

新潟市で「19日行動」

「このたたかいに負ける訳にいかない。一緒に頑張っていこう」と訴えました。

参加者から「後藤さんの言葉に思わず涙し、感動で胸が震えました」

新潟県憲法センターは19日、新潟市で「怒りの19日行動」を行い、スタンディング宣言に100人近くが参加しました。佐藤一弥代表が「戦

争法にもとづき南スーダンに派遣される自衛隊員の危険が迫っている。戦争法廃止のため、町から村から運動を大きく広げよう」と呼びかけました。

「あきらめず、できることをやり続ける大切さを改めて教えていただき、感謝でいっぱいです」「フルートも最高でした」との感想がありました。



戦争法廃止を訴える参加者＝19日、新潟市



自由法曹団の土屋俊幸弁護士は「安倍首相は、改憲勢力が国会の3分の2を占めたことで憲法改悪の準備を着々と進めている。ナチスが政権をとった時代にしてはならない。憲法改悪、戦争法反対の声を上げよう」と訴え、強調しました。

市民ネットは19日、新潟駅前前で192回目金曜行動を行い、デモ行進しました。

集会では「四国電力の伊方原発が再稼働した。半島の付け根にある原発が再稼働し、

鹿兒島県の川内原発再稼働反対で頑張る、三反園知事を応援する替え歌を歌い、伊方原発停止のプラカードを掲げ行進しました。

柏崎刈羽原発再稼働中止に

新潟市民ネットが金曜行動

なくそう原発・新潟市民ネットは19日、いと指摘されながら再稼働したのは停止すべきだ「東京電力は新聞にピラを折り込んだり、新潟市のビルでパネル展示をしている。再稼働に本気であり、私たちが負けないよう頑張ろう」と地元紙のコラムに9月3日の柏崎市集会で紹介されたら、たちまち10件の問い合わせがあった。集会を成功させ、再稼働を止めよう」と発言がありました。

大学から軍拡阻もう

『今、全国の大学、そして新潟大学で何が起きているのか?』。大学の軍学共同路線や学問の自由などの問題が、「大学問題を考える市民と新潟大学教職員の間」主催の「大学問題セミナー」(7月30日)で明らかにになりました。大学関係者、弁護士、教員、市民など

新潟大学で今何が教職員らセミナー



大学の軍学共同路線と学問の自由について学びあったセミナー

23人が参加しました。

レポート1として報告した赤井純治新潟大学名誉教授は「新潟大学の人事凍結や教育学部の新課程の設置、そして軍学共同路線もすべて2004年の大学の法人化から始まった。法人化路線は大学の新自由主義改革であり、経済的な視点、グローバル経済での大企業の競争強化に基づく大学を市場原理で支

軍学共同反対

学問の自由を守る

倍首相の軍拡路線を大学から阻止できる展望も生まれている」と強調し、かつて新潟大学の軍学共同路線を拒否した「非核平和宣言」運動の経験も踏まえて発言しました。レポート2の報告では、新潟大学の岡野勉職員組合委員長が、新潟大学、特に教育学部で起きている文科省主導の「改革」の実態と、それに反対して学問の

自由と自主性を守る職組、そして学生の運動を報告しました。「教育学部の新課程」問題では、2013年に文科省と大学執行部との意見交換を経て確定された「新潟大学教育学部のミッション再定義」では、「教員免許取得が免除された芸術・スポーツ専門課程(定員150人)の廃止」問題がクローズアップされました。

専門課程で学ぶ学生たちは「新潟大学の文化政策は地域と密接な関係がある。何らかの形で継続してほしい」と署名活動に取り組み、学部主催の市民参加のシンポジウムも開催されました。岡野氏は「国の大学への運営費交付金削減による新潟大学で2年間、人件費抑制のための新規採用者2年間凍結の実態」を述べ、それとたたかう職組の取り組みへの支援を訴えました。参加者から「スタートした教職大学院で実践されている教育委員会との人事交流は問題だ」「大学院に通っている中学校教師からも不満が語られている」「新潟大学内での非核平和宣言の素晴らしい活動は、もっと市民に知らせてほしい」との意見が出ました。まとめをした県憲法会議の酢山省三氏は「大学を安倍政治の犠牲にしてはならない。新潟大学でこれまで学生や地域から評価されてきた芸術・スポーツ専門課程の成果と内容の継続を、市民から大学側に要望するアクションを計画したい」と述べました。

配しようとする考え方が貫徹している」と指摘。「異常に急進展する軍学共同」の実態を告発しました。特に2015年度から始まった防衛省の「安全保障技術研究推進制度」の予算が、当初の3億円から今年度6億円、自民党国防本部からは100億円への増額要求が出されていると指摘しました。赤井氏は「今年度のこの制度の研究委託採択件数が発表され、応募件数が昨年度から半減した。私たちの反対運動の成果であり、

誰の子どもも殺さない殺させない



〈未来へ〉日本が重い課題を背負い続ける「八月忌」に、このコーナーは満十歳となった。みなさまに感謝し、同時に平和憲法を未来への遺産とする強い意思をこめてこの稿を記した。

高橋シズ

地方政治と住民運動の専門誌

議会と自治体

月刊

社会医療法人 新潟勤労者医療協会

理事長・高橋常彦	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	Tel.0250(24)5170
下越病院	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	Tel.0250-22-4711
舟江診療所	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	Tel.025-229-3588
介護老人保健施設入舟	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	Tel.025-229-3588
沼垂診療所	〒950-0075	新潟市中央区沼垂東6-4-12	Tel.025-244-0116
坂井輪診療所	〒950-2054	新潟市西区寺尾東3-8-35	Tel.025-269-6630
おぎの里	〒956-0012	新潟市秋葉区荻野町3-8	Tel.0250-25-3071
ときわ診療所	〒950-0036	新潟市東区空港西1-15-17	Tel.025-274-2714
かえつクリニック	〒956-0836	新潟市秋葉区田家2-1-30	Tel.0250-22-5888
かえつ歯科	〒956-0831	新潟市秋葉区中沢町1-25	Tel.0250-25-5510